

TOKYO KASEI PRESS

2025
4
Vol.104

学校法人渡辺学園 広報誌 なでしこ

2026年

東京家政大学は、変わります。

「共創デザイン学部」構想中

「心理カウンセリング学科」構想中

「社会デザイン学環／文化情報学環」構想中

2026年 完成予定

学校法人 **渡辺学園創立140周年記念館**





2025年は、これから進む方向を見定める年に

18歳人口が減り続けるなか、入学定員を充足できない大学が増えています。大学にとって厳しい時代です。東京家政大学でも、定員を満たし続けている学科がある一方で、いまの定員を維持するのが難しくなっている学科も生じています。18歳人口減少の影響だけでなく、社会全体が大きく変わり、若者が大学に求めるものも変化し始めているのかもしれない。私の世代がウェブブラウザを初めて使ったときはすでに30歳代でしたし、携帯電話の普及期には40歳を過ぎていました。生まれた頃からインターネットが日常で、スマホ、SNSに囲まれて、さらにAIの利用まで広がろうとしている現代の若者の価値観、目標が、これまでと変わってくるのは当然です。

明治14年の創立から今年で144年目を迎える東京家政大学は、歴史の移り変わりのなかで、時代の要請に応え、女性の自主自律を応援し続けてきました。女性が社会で働くこと、経済的に自立することが極めて難しかった時代に、裁縫の技とその教授法を学べる和洋裁縫伝習所として出発し、第2次世界大戦後の時代の大きな転換点にあっては、当時新しい学問であった家政学を学ぶ新制大学として発足しました。いままた世界秩序の変わり目、先を見通すことが難しいとき、東京家政大学はどこへ向かうのか、2025年は、これから進む方向を見定める年にしなければなりません。

東京家政大学 東京家政大学短期大学部
学長 井上 俊哉



学部長/科長からのメッセージ



林 あつみ
短期大学部
栄養科長

健康を支える栄養を学び、有意義な学生生活を

「食」の面では、すべての栄養素を必要量摂取すれば健康を維持することができます。そのための基礎から応用までを2年間で学びます。わからないことや不安なことがあればクラス担任や担当部署に相談しましょう。友人と協力しながら自分の知識・技術を高めていってください。有意義な学生生活を送れるよう教員一同、精一杯支援して参ります。



鈴木 隆
短期大学部
保育科長

相談しやすい環境で、生き生きと輝く保育士を育成

保育科は、豊かな表現力を持ち、明るくアクティブな保育を展開できる人材の育成を主たる目的とする学科です。保育科での学修について、学生生活について、進路について、そのほかどんなことでも不安や心配があればいつでも、誰にでも相談してください。皆さんの幸福な将来のため、教員一同全力を注いで皆さんに向き合います。



保坂 遊
子ども支援学部
学部長

多様性の時代に可能性を広げ、共創する力を育む

ご入学・ご進級おめでとうございます。「多様性の時代」と言われる現代社会では、「個」を育み、互いを認め合いながら、全ての人が力を発揮できる社会を「共創」する力が求められています。皆さんの可能性を最大限に引き出し、専門的な学びを深めながらも、社会を包括的に捉え、自分自身を広げていただけることを期待しています。

子ども支援学科長 小櫃 智子



平田 浩三
健康科学部
学部長

地域で寄り添う医療スペシャリストの育成

健康科学部の教育の目的は、すべての年代の人々が「地域でその人らしく暮らす」ことを支援できる、看護師、作業療法士、理学療法士を育成することです。経験豊かな教員の指導のもと、仲間とともに学び合い、共に成長し、地域社会や患者さんから信頼される医療の専門家を目指してください。風薫る春の狭山キャンパスで、皆さんとの出会いを楽しみにしています。

看護学科長 安達 祐子
リハビリテーション学科長 下田 信明



小池 新
人文学部
学部長

変化する社会で活躍する力をつける人文学部の学び

ご入学おめでとうございます。人文学部は、人に関する様々な側面を探究する学部です。各学科の特徴を基に、人の行動・考え方を学びます。皆さんは、これらを「教えてもらう」知識だけでなく、実践や実習を通じ「自らの体験」として、より深く理解できます。その学びを通じてAIなどで変容する社会でも活躍できる力を身につけましょう。

英語コミュニケーション学科長 根本 貴行
心理カウンセリング学科長 杉山 雅宏
教育福祉学科長 平戸ルリ子



岩崎 美智子
児童学部
学部長

自己の成長を実感できる学びの提供を

家政大では、毎年1年生と3年生を対象として、大学での学びや学生生活に関する調査を行っています。その結果を見てみると、児童学部は、「大学で学ぶことによって、自分の成長を実感した」という回答がとて多い点特徴的でした。私たちは、これからも「ひとりひとりの学生が、成長を実感できる学部」であるよう力を尽くします。

児童学科長 榎沢 良彦
初等教育学科長 半澤 嘉博



小西 康子
栄養学部
学部長

「食と健康」を学び、未来へ歩む

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。栄養学部では、「食と健康」に関する様々な課題を理解し、探究するとともに、実践的な分析や解明につながる専門的な知識と技術を学びます。どんな課題にも前向きに取り組み、新しい知識やスキルを積極的に吸収し、同じ志を持つ仲間たちと協力しながら、「食」の未来に向かって歩んでいきましょう。

栄養学科長 鍋谷 浩志
管理栄養学科長 田中 寛



兼古 昭彦
家政学部
学部長

学びを通じて社会と未来を輝かす

本学家政学部での学びは、社会全体や身近な生活を豊かにすることに真っ直ぐつながっています。皆さんひとりひとりが充実した大学での日々を過ごすことも、社会を輝かせることにつながっています。身につけた力が自身の将来をどのように明るく照らすのか、考え、模索し、夢や希望を実現してください。力になります。

服飾美術学科長 田中 早苗
環境共生学科長 宮本 康司
造形表現学科長 手嶋 尚人

次の時代を、共に創る。

共創デザイン学部、始まる。

共創デザイン学部は、服飾美術学科と造形表現学科の2学科で構成され、各学科の専門性を伸ばしつつ、学部合同でのプロジェクトを軸に、さまざまな角度から学びを深めていきます。

服飾美術学科

ファッションと科学で未来を紡ぐ

学科の特長

POINT 「服飾サイエンスコース」「服飾ビジネスコース」「服飾文化造形コース」の3つを新設

- PICK UP 01 業界が期待するSDGsに定める「サイエンス」「ビジネス」「文化造形」の学びを提供
- PICK UP 02 地域社会や企業と連携した授業で、実践的な課題発見・解決能力を身につける
- PICK UP 03 企画運営を学生が自分たちで行うファッションショーを毎年実施



造形表現学科

自分を磨き、人と社会に彩りを

学科の特長

POINT 美術・工芸・映像・デザイン…基礎から幅広い造形表現を学ぶ

- PICK UP 01 未来を自分自身でつくる「ステディーズカリキュラム」
- PICK UP 02 地域の「人と人」「人とこと」をデザインの力でつなぐ「観光(まちづくり)×デザイン」の新設
- PICK UP 03 就職活動でアピールできる「育ちのための表現士」修了証を発行



※内容はすべて構想中であり、変更される可能性があります。

心理学で、社会を支える共感力を実現

心理カウンセリング学科が

3コース制に

(構想中)

心理学やカウンセリングの基礎から応用までを身につけていくことで、スキルは深く多彩に。心理学を用いて社会課題の解決に取り組む人材を育成します。

マネジメントコース

人の心に寄り添い、企業や公務員で活躍する

消費者行動やマーケティングなど社会に関連した心理学、個人や組織のウェルビーイングに関連した心理学などの専門科目を多数配置します。SDGsへの意識の高まりから注目されている「一人ひとりを幸せにする組織マネジメント(ウェルビーイング経営)」に貢献できる力を身につけます。

関連する資格 社会調査士

心理支援コース

心理職に必要な実践力を身につける

本学の大学院までの6年一貫教育では、臨床心理学の知識、心理療法のスキルを基礎から応用まで幅広く学べます。国家資格の公認心理師(受験資格)に加え、臨床心理士(受験資格)を目指すことができます。

関連する資格 公認心理師※、臨床心理士

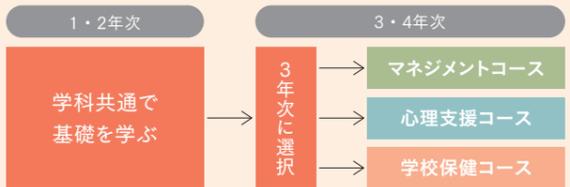
※大学卒業後、指定施設での実務経験でも受験資格を取得できます。

学校保健コース

心のケア・サポートを強みにする

子どもたちの心のケア・サポートを強みとする養護教諭を養成するカリキュラムがあり、3・4年次には学校現場や病院などで実習を行います。保健室を運営し、児童生徒の心身の健康を増進させるために必要な知識・技術を学びます。

関連する資格 養護教諭一種免許状



※内容はすべて構想中であり、変更される可能性があります。

2026年 東京家政大学 は、変わります。

TOKYO KASEI UNIVERSITY IS TRANSFORMING.

社会的課題に向き合う

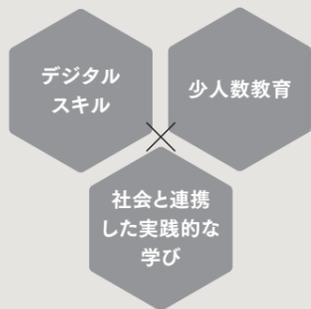
2つの新しい学びの“環”

(構想中)

正規の授業として行う企業や自治体などと連携したプロジェクト学習(PBL)で、学生のうちから社会的課題に触れ、その解決方法を実践を通して学びます。

Q 学環ってなに？

A 東京家政大学の「学環」は複数の分野を横断的かつ統合的に学び、社会と連携した実践を通じて学びを深めていく教育課程です。分野を超えて知識やスキルを習得することで、複雑な社会問題に対応するための多角的な視点と柔軟な思考力を育成することを目的としています。卒業時には学部と同様に「学士」の学位が得られます。



社会デザイン学環

(構想中)

「現場からより良い社会をリ・デザインする」力を身につける

こんなことができます！

- 企業や自治体での体験的な学び(PBL)で、実社会と関わります。
- プロジェクトを円滑に進めるスキルや企画の立て方を学びます。
- 手を動かし、試作物を活用して、企画を練ります。
- 社会デザインの考え方を学び、社会を創り直す構想力を育みます。

卒業後の進路 1T企業、商社、サービス、小売、金融、公務員、関連分野の大学院進学など

文化情報学環

(構想中)

社会における情報を効果的に活かして、新たな価値とともにストーリーとして発信する

こんなことができます！

- 企業や地域社会と連携した学びを通じて、文化・社会への提案力を身につけます。
- ウェルビーイングな社会を目指し、「幸福の国」北欧諸国の事例等を学びます。
- 情報を整理し、ストーリーを組み立て、デジタルや紙媒体で発信します。
- 人とつながるコミュニケーション力をつけ、ミュージアムや企業で実践します。

卒業後の進路 広告・マーケティング、メディア、出版、1T企業、公務員、ミュージアム等の文化施設、関連分野の大学院進学など

※内容はすべて構想中であり、変更される可能性があります。

2025年度開催

オープンキャンパス

プログラム内容

個別相談・体験授業・在学生との交流など(申し込み制)

ぜひご参加ください！



詳しくはこちら！



板橋キャンパス

- 2025年 6/15日 9:30~13:30
- 2025年 7/13日 9:30~13:30
- 2025年 8/3日 10:00~16:00
- 2025年 8/23日 10:00~16:00
- 2025年 9/27日 10:00~15:30
- 2025年 12/21日 9:30~13:30
- 2026年 3/27日 9:30~15:30

狭山キャンパス

- 2025年 6/15日 12:30~16:00
- 2025年 7/13日 12:30~16:00
- 2025年 8/2日 9:30~16:00
- 2025年 8/24日 10:00~16:00
- 2025年 12/21日 12:30~16:00
- 2026年 3/26日 10:00~15:30

※オープンキャンパスなどイベントの日程・時間・内容は変更・中止の可能性があります。詳細は必ず本学ホームページをご確認ください。



学校法人 渡辺学園創立 140周年記念館

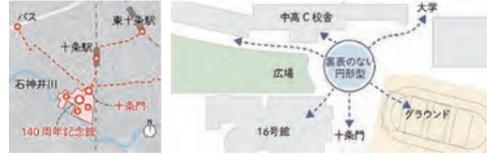
Watanabe Gakuen Educational Foundation 140th Anniversary Memorial Hall

渡辺学園創立140周年記念館は、社会課題の解決につながるデジタル時代のスキルと創造性の育成を目指し、学生ファーストで環境を整備し、2026年、板橋キャンパスに完成する予定です。

新校舎の3つのPOINT

POINT 1 キャンパスの新しいハブとしての140周年記念館

十条門は公共交通機関からのアクセスが良く学園の顔、交通のハブになっていく大切な場所です。板橋キャンパスの新しいコミュニケーションの中心、「ハブ」となることが期待されます。



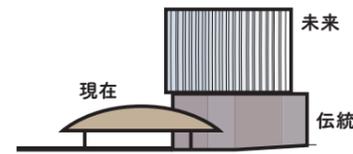
POINT 2 120周年記念館と対をなす140周年記念館

120周年、140周年、2つのタワーが板橋キャンパスの新たなシンボルとなります。120周年記念館が建つ中庭を「120周年の森」、140周年記念館と東側のひろばを「140周年のひろば」と位置付けます。建物とひろばが一体となることでより広がりのある憩いとくつろぎの場所となります。



POINT 3 出会いと交流の場

この建物は中・高・大学、学外など、十条門から訪れるすべての方を迎え入れます。そして、それぞれの場所への中継点として、動線が交わる大切な場所です。その中心となる大屋根テラスは、憩いや、出会い、発見の場であり、そこで人と人、人とモノ、人とコト、人と学び、表現などの、交流共創の場になることが期待されます。



現在、集う・出会う・くつろぐ・表現発信する： 大屋根テラス (B棟)

140周年記念館を訪れたすべての方がドームの下に会い、コミュニケーションのハブとなります。ひとつながりのおおらかで温かみのある空間は、リラックスしたオープンな場をつくりだします。緑苑祭やファッションショーなどのイベントスペースになります。140周年記念館のシンボルとなり、コミュニケーションを触発する、集いと出会いと表現発信の場です。

140周年のひろば -くつろぎ憩いの場

豊かな緑・伸びやかに広がるひろば・多様な居場所をつくる階段テラス。気持ちの良い憩いの場をつくりだします。

140周年のひろば VI 大屋根テラス

B棟

A棟

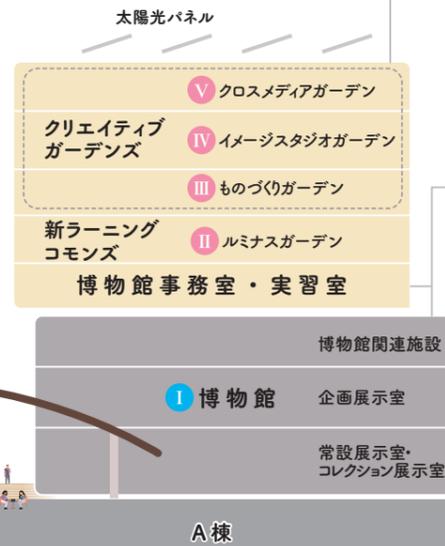
society 5.0の未来社会を生きる力を育む

クリエイティブな場 (A棟 5~8F)

イメージを多様に刺激しアクティブな学修と交流を促進する場。ジグザグの外壁は日射を制御しながら眺望を確保する環境配慮型の外観であると共に内部側には学生の居場所をつくりだします。イノベティブで開かれた創造的な空気の下、新しいアイデアやアプローチを試すことを奨励する、ラボのような活動的でフラットなインテリアです。オープンでフラットな空間、各階をつなぐコミュニケーション階段などにより、協力や協働、オープンなコミュニケーションを刺激します。

歴史と伝統から学ぶ博物館 (A棟 1~3・4F)

学園の歴史と伝統を訪ね、次の時代を見据える場として、学生はもとより多くの方々にも本学を深く理解してもらうことを期待しています。外観は敷地形状から導かれた多角形の外壁を特徴としています。学園の歴史を紹介する常設展示室や、幅広い収蔵品を展示するコレクション展示室、様々なテーマを取り上げる企画展示室での活動を通じて、地域社会に開かれた社会教育施設・文化施設としての役割も果たしていきます。



V A棟 8F クロスメディアガーデン (AR、VR対応教室、共創スペース)

ARやVRといった最新の映像技術を取り入れたsociety 5.0の未来社会を生きる力を育むクリエイティブなフロア。狭山と板橋の合同授業も可能で、キャンパスを超えた学生間交流もできます。新たなデジタルな学びの世界を体感できます。ハードだけでなく、教職員や学生のDX活動への支援も視野に入れています。デジタルに強い学生を育成・組織し、デジタルに関することについて自主的に学びたい学生へのアシスト(ピアサポート)を行います。他の人に教えることによる学修の向上効果も期待されます。



II A棟 5F ルミナスガーデン (ラーニングcommons多目的演習室)

主体的な学びと交流、学生ファーストの学習スペース。グループでの主体的学修、個人での主体的学修を支援します。

III A棟 6F ものづくりガーデン (デジタル工作工房)

抽象的でわかりにくいデジタルの世界を、実際に触って見るようにして学べます。レーザーカッターや3Dプリンターなどの機材を整備して、リアルな世界とバーチャルな世界を学生が体験し、理解できるようにします。さらにさまざまな学科の学びや、社会課題解決のための学生の自主活動に活かせる、DX時代のものづくり力の養成が期待されます。

IV A棟 7F イメージスタジオガーデン (撮影・収録スタジオ、ICT学修支援室)

本学の学生や教員が、気軽に動画や音楽を制作して発信できるようにするための収録スタジオと編集設備を整備し、授業のための動画作りや、ダンスや音楽のサークル活動の発表など、デジタル技術をつかって表現力を向上させることができます。



I A棟 1F~3F・4F 博物館常設展示室・企画展示室・ 博物館関連施設・実習室など

博物館活動をさらに充実させるため、展示室などの主要施設を拡充・強化。展示による公開に加え、デジタルコンテンツの作成・発信を推進して、重要有形民俗文化財「渡辺学園 裁縫雛形コレクション」をはじめとする豊富な収蔵品の魅力を発信します。

想像と創造を多様に刺激し 主体的な学修と共創を促進する場



計画名称: 140周年記念館建設事業計画
建築面積: 約2,195.75㎡
延床面積: 約7,536㎡

A棟階数: 地上8階-40.71m
B棟階数: 地上1階-10.45m
A棟構造: 鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造
B棟構造: 鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造(計画中)

**人文学部
教育福祉学科2年 S.M.**

A1. 大学1年生の授業では社会福祉、心理、社会教育の3分野の基礎的な部分について多く学修しました。大学に入学して、自分が学びたい分野について学ぶことができることは幸せなことでも楽しいと実感した1年間でした。
A2. 私の家政大の推スポットは、図書館1階にあるオーディオコーナーです。椅子の座り心地が良く、自習をするときに利用しています。



**人文学部
心理カウンセリング学科2年 N.K.**

A1. 1年生の授業は必修科目が多く、学年全員と一緒に講義を受けることが多くあります。そのため、クラス関係なく友人を作ることができ、試験前にはお互いに教え合いながら勉強することもあります!
A2. 私のイチオシは15号館2階からの景色です! 4限の後廊下に出ると、綺麗な夕日を眺めることができます。

**健康科学部 リハビリテーション学科
理学療法専攻2年 N.M.**

A1. 1年生では人体の構造や機能を理解したり、実際に病院へ見学実習をするなどの経験を通して、理学療法士がどのような職業なのかを深く知る年になりました。今まで触れてきたことのない知識ばかりで初めは不安になりますが、友人と助け合うことで試練を乗り越えてきました!
A2. 自然が豊かなため、四季を感じながら通学できることが推します。近くにある公園は桜がとても綺麗なのでぜひ行ってみてください。



**健康科学部 リハビリテーション学科
作業療法専攻2年 Y.Z.**

A1. 授業は専門的で難しいですが、先生方が親身になって教えてくださいました。そのため、質問や相談もしやすいです。また、授業や実習の内容を仲間と振り返り、時にアドバイスし合うことで、学びや絆が深まったと思います。
A2. 私の家政大学の推しは図書館です。大きな窓と照明で明るく、居心地の良い空間であり、読書や勉強に集中できます。

**短期大学部
栄養科2年 S.N.**

A1. 私は今年度、短大2年生になります。1年次は栄養士の基礎となる学びや教員資格取得のための授業を履修し、忙しくも充実した日々を過ごしました。食について学ぶ中で食べる楽しささらには実感しています。
A2. そんな私の推しは学食。食券機の前で悩む時間が日々の小さな楽しみで、それが学びのモチベーションにもなっています。また写真は私が家政大で初めて食べた学食であり今もお気に入りの「メンチカツ丼」です。



**短期大学部
保育科2年 A.W.**

A1. 保育実習の部分実習では、ペットボトル輪投げを行いました。遊びを通じて利用者さん同士の交流や身体を動かすことの楽しさを感じてもらえるよう工夫しました。実習を通して、一人ひとりへの支援の工夫や関わり方の大切さを学びました。
A2. 図書館です。実習で使う絵本や保育の本が充実しており、落ち着いた環境で勉強ができます。実習前の準備にも役立ち、安心して実習に臨むことができました。

**人文学部
英語コミュニケーション学科2年 F.M.**

A1. 大学の授業は話し合いの機会が多いため違うクラスや他学科の友達も増え、楽しい授業です。また、バレーボール部に所属し他学科の人と関わったり、土日にも部活をしたりと非常に充実した学校生活を送っています。
A2. 14号館6階ラウンジがお気に入りです! 眺めが良く、落ち着くので空きコマや部活前に利用しています。



**健康科学部
看護学科2年 H.T.**

A1. 看護学科では、演習、座学、実習を通して技術や知識を学びます。演習は、学生が看護師役と患者役に別れて行うため、看護師の大変さや患者の気持ちを体験しより良い看護を行うための方法を考えるきっかけになります。
A2. ゼミ室がおすすめの場所です。友達と集まって勉強や課題をすることができるので、とても集中できます。



**子ども支援学部
子ども支援学科2年 K.G.**

A1. 「子どもの造形」の授業では、お店屋さんごっこを行いました。各グループでお店のテーマを決め、画用紙やリサイクル素材を使って商品や看板、模擬のお金を制作し、接客のやり取りを実践しました。
A2. かせい森のおうち…ボランティアや実習を通して、子どもたちと交流しながら学びを深められるのが魅力です。



**児童学部
初等教育学科2年 M.C.**

A1. 授業は、実践的で深い学びを得られると感じます。1年次からゼミがあるため、早い段階から専門的な学びを得られます。学校生活では、初めにオリエンテーションが設けられているため、教授や友達との関係も良好に築けます。
A2. 私の家政の推しは、日々の授業です。学生と教授の間に厚い壁がなく、相談しやすい関係を築けることや友達と将来に向かって頑張る姿が目に見えらるからです。



**栄養学部
管理栄養学科2年 N.T.**

A1. 管理栄養学科は課題が多く、時間が足りないイメージがあると思いますが、バイトやサークルで大学生活を謳歌できます。私もバイトやサークル(スキー部)など勉強以外の楽しみを多く見つけています。最後の大学生活を悔いのないように過ごしてください。
A2. 図書館にある読書室です。管理栄養学科は課題が多いため、集中して早く終わらせるのに最適なスペースです。

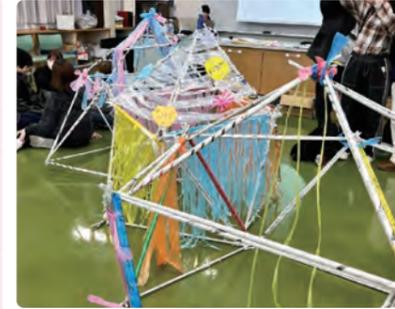


**家政学部
造形表現学科2年 H.A.**

A1. 東京家政大学では、授業やサークル活動を通じて充実した学生生活を送り、仲間と切磋琢磨しながら創造力を高め、成長できる環境が整っています。
A2. 東京家政大学のゆるキャラ、りょっくんはキャンパスの癒し。笑顔が魅力的で、緑苑祭でも大人気です!

**児童学部 児童学科
育児支援専攻2年 K.M.**

A1. 自分の名札をつくったり、からだを使った遊びを考えたりと、実践的な授業が多いです。ペアになって歌に振り付けをする授業もあり、クラスの友達と協力して取り組みました。写真は、グループごとに新聞紙で家づくりをした時の様子です!
A2. 推しは「学食」です! ほぼ毎日学食でランチをしていて、定食やラーメンなどさまざまなメニューを楽しんでいます。



**児童学部 児童学科
児童学専攻2年 S.M.**

A1. 児童学科の学生は、「子どもが好き」という共通点からか、明るく心優しい雰囲気を持つ子が多いため、すぐに仲良くなることができ、笑顔が絶えないとても楽しい毎日を送っています。現場の経験のある先生方が多く、授業や実習を通して、実践的に理解することができます。
A2. 私の推しは、なんといっても、友達と食堂で何か食べながらひたすらおしゃべりする空コマです! この時間が授業を頑張る源になっています。

在学生が
**紹介する
学び**

Q1. 学業について
Q2. 東京家政大学の推し



**栄養学部
栄養学科2年 K.Y.**

A1. 1年生の学修は主に座学の授業が中心です。生化学概論や基礎栄養学など、これからの実習や実験、専門的な知識を学ぶための土台となる知識を身につけています。日常生活に活かすことで、より学びを深めることができます。
A2. 私の家政大の推しは、1号館5階から見える景色です。東京スカイツリーと東京の街を一望できる、ここでしか見られない隠れ絶景スポットです。



**家政学部
服飾美術学科2年 A.N.**

A1. 和裁洋裁以外にも色彩や文化史、科学的観点から捉える授業、白衣で行う実験など、座学と実習を通して広く学ぶことができます。浴衣やスカートなどの作品を先生方にご指導いただき完成させた時の達成感は格別でした。
A2. Luce(ルーチェ)。窓越しの緑に明るく開放的な空間。ドリンクなどもあり、試験前は連日活用しています。



スタートアップセミナー 自主自律



本講義は全1年生を対象としており、学部異なる5人1グループで協同学習を行います。まずは充実した協同学習を進めるための基礎を実際に試しながら身につけます。講義前半では本学の歴史に触れ、本学の原点や各々が学ぶ意味を考えていきます。後半では今日の社会問題に目を向け、私たちにできることを検討していきます。

学部が異なれば興味関心、考え方も異なります。そんな環境で協同して学ぶからこそ、還元されるものは大きいと考えています。本講義を通して、学びの基礎である自主自律の精神を養っていきましょう！



人間力を磨く協同学習
「スタートアップセミナー 自主自律」

バスケットボール部で
仲間と練習に励んでいます！



クラスの友人とBBQや海へ！



児童学部
児童学科 育児支援専攻3年 R.K.

Graduate Interviews

卒業生

社会で活躍する



PROFILE

株式会社
美高商事ヘルシーワン
家政学部 栄養学科 M.I.
管理栄養士専攻 2022年度卒
(現：栄養学部 管理栄養学科)

お客様に寄り添い、
健康と美容を支え
私のステージを築く



お客様の健康と美容を支える
管理栄養士の挑戦

日本ではじめてのビタミンショップ「ヘルシーワン」松屋銀座店で、管理栄養士として勤務し、3年が経ちました。ご来店くださるお客様の心身の体調に関するお悩みや食事内容をカウンセリングし、栄養素のご提案をしています。

私がヘルシーワンに入社を決めた理由は、管理栄養士として「健康」をサポートしたいと思ったからです。学校で学ぶことのほとんどは、「制限」。食事を制限するに至ってしまった原因には、普段の食事が大きく影響していることが多く、制限をしなければ良い、健康な状態を保つために管理栄養士がはたらきかけるべきだと思っています。

日々ありがたいことにすてきなお客様に囲まれ、管理栄養士として、人として、成長し続ける必要性を感じます。私が仕事をする上で最も大切にしていることは、「管理栄養士としてお客様の健康・美容をサポートをし、問題解決に向けて寄り添うこと(「ソリューション」)」、「お客様との関係性(「ホスピタリティ」)です。」「かかりつけ栄養士」として、お客様のお悩み解決に携わることができた時や、お客様の新たな一面を知ることができた時にやりがいを感じます。お客様が思っていること、潜在的なお悩み・不調を引き出すためのコミュニケーションはとても難しく、3年経った今も反省ばかりです。それでも、ヘルシーワンに期待してご来店くださったお客様に応えたいので、店舗スタッフからのフィードバックや情報共有などチームで準備し、接客時に最大のパフォーマンスを発揮できるように努めています。

挑戦と趣味を通じて
成長を続ける日々

入社して10ヶ月でショップリーダーになりました。

学長と学生の意見交換会



家政学部
栄養学科 管理栄養士専攻4年 M.N.

学長や、学部の垣根を
越えた学生と意見を
交わす貴重な経験

学長と学生の意見交換会に参加し、大変有意義な時間を過ごすことができました。普段、学長と直接意見を交わす機会はほとんどなく、学生の声がどのように大学運営に反映されるのを知る貴重な場でした。特に、異なる学科・専攻の学生と議論を交わしたことで、自分にはなかった新たな視点を得ることができた点が印象的でした。

また、学生が抱える疑問や要望を学長に直接伝えることで、大学の現状や今後の方向性について理解を深める機会となりました。こうした意見交換の場があることで、学生が大学運営に積極的に関わる意識を持つきっかけになると感じました。学長と学生が相互に理解を深めることは、より良い大学づくりにつながるため、今後もこのような取り組みが継続されることを期待しています。

学長と学生の 意見交換会とは

学長をはじめとする役職者が学生から意見等を直接聞くことにより、学生のリアルな実情や要望に接し、大学運営においてより実効性のある施策立案や実施に役立てるための機会です。

令和6(2024)年度は「学生に教えてもらう『GOOD授業』の条件」をテーマにグループ対話を実施しました。



ようやく業務に慣れたばかり、というタイミングでこの正直困惑したことを覚えています。入社歴の長い先輩が部下になるという初めての経験や、新人教育、店舗に対する責任の大きさにプレッシャーを感じる日々でした。その中で、周りに頼ることの大切さと、それによって関係性が築かれていくことを学びました。人に教えることはとても大変なことで、なかなかうまくいきません。行き詰まった時の仲間の助言や、他店で頑張っている同期の存在が私の支えとなってきています。

「仕事も遊びも本気で」というヘルシーワンの特色は、私自身も大切にしていることの1つです。大学時代にサークル活動で始めたフラダンスを昨年から再開したほか、ピアノは20年以上続けており、毎年発表会に出演しています。自分でも社会人になって続けると思っていませんでしたが、これらの趣味がリフレッシュの時間になっているだけでなく、新たなコミュニティの拡大や、様々な人・文化と交流を持つことによる発見に繋がっていると感じます。お休みをいただき、好きなアーティストのライブやイベントに行くこともあります。ステージに立つこと・ステージを見ることが私の生きがいです。これからも自分の「好き」に正直に、「人として成長し続けること」を人生のテーマしたいと思います。



WEB



Instagram

国際交流

外国人留学生 日本での大学生活

海外研修／留学 研修先の様子や自分の変化



台湾
栄養学部
管理栄養学科3年 H.C.

日本の大学生活はとても充実しています。管理栄養に関する専門知識を学びながら、さまざまな授業や活動を通じて文化の違いを感じ、日本文化を体験しています。休みの日には国内旅行を通じて日本各地の魅力を知り、学びと日常生活のバランスを取りながら貴重な経験を積んでいます。日本人学生と交流して、日本の文化や流行を深く理解するだけでなく、日本人の習慣や価値観を体感できました。この経験は、日常生活でのコミュニケーションに役立つための貴重な力となっています。



ニュージーランド オタゴ大学 秋期語学研修
人文学部
英語コミュニケーション学科3年 A.K.

私は留学に行くことを考えた時から、現地の部活に入りたいと考えていました。留学に行くことが決まり、部活に入ることにとてもワクワクしていましたが、練習場所に行っても誰一人知らない場所に一人で扉を開けて入ることがとても怖かったです。続けていけば何か自分に良いことが必ずあると信じて頑張っていました。私の性格は、元々100%ポジティブと胸を張って言える性格ではありませんでした。ですが、今はポジティブ過ぎると言われる程前向きです。自分の決めた目標を達成している過程や周りの声掛けのおかげでこの性格になりました。



中国
栄養学部
栄養学科2年 J.Z.

日本の大学は中国と比べて実践的な教育に力を入れており、個人の能力向上も重視してくれると聞きました。また、日本の栄養学は長い歴史があるため自分の興味がある分野を深く学ぶことができる上に、課題に向き合う力や異なる視点も養えると思います。日本への留学を決めました。東京家政大学の栄養学部には今まで多くの留学生が在籍しており、履修できる授業なども実用性が高いため進学を決めました。日本での生活は、母国と異なる文化、習慣、考え方に触れることができます。また、周りの人は優しく、細やかな気配りをしてくれるので日々温かさを感じています。



オーストラリア アデレード大学 秋期語学研修
人文学部
英語コミュニケーション学科3年 Y.N.

異文化の中で暮らし、さまざまな背景を持つ人々と交流する中で、語学以外にも多くを学びました。私にとって最も印象的だったのは、外向的な人が多いことです。スーパーマーケットで買い物をしていたり、道を歩いていたたりするだけでも元々友人であったかのように会話が始まる文化は日本にはないように思いました。私は内気な性格で自ら話しかけることが苦手でしたが、そのような人々と出会ったことで、人とのコミュニケーションが楽しく感じられるようになりました。



HELLO!!

LOVE!!!

Students' Challenge!

課外活動や社会連携／産学連携

学生たちの挑戦!

を通して培う、課題解決能力



社会連携／産学連携 活動紹介

課外活動 活動への想い

産学連携 昭和産業グループ 卵のアイデアレシピ開発
たまごのある暮らしレシピ開発教育プログラム

栄養学部
管理栄養学科3年 I.F.

私はこの活動に2年連続で参加しました。テーマが提示された後に、色々なレシピを考案、試作することが楽しく、また企業の開発者の方々や先生方から直接アドバイスをいただくレシピ検討会では、視点の考え方、味や見た目の変化の付け方など実践的な学びを得ることができました。アドバイザーを基に行ったブラッシュアップでは、自分の想いや卵の特性を活かすレシピの改良に苦戦しましたが、完成した時には大きな達成感がありました。

▶最終レシピ講評会での調理

▲最終レシピ講評会でのプレゼン発表

図書館ボランティア団体(板橋キャンパス)

人文学部
教育福祉学科2年 H.S.

こんにちは！
私たちはLibrary Matesです！
私たちの主な活動は、クリアファイルやアクリル袋、缶バッジやしおりなど図書館に関連するグッズを制作するグッズ班、附属の幼稚園へ読み聞かせ活動を行いに行く読み聞かせ班、図書館内を季節や行事に合わせて色とりどりに飾り付ける飾り付け班があります。その他にも、図書館内をツアーしたり、本屋へ新しく図書館に入書する本を選ぶ選書ツアー、図書館総合展へのブースの出展やグッズ配布を行っています！

産学連携 東洋水産株式会社との共同開発
カラダほころぶ 豆乳と酒粕のスープの開発

栄養学部
栄養学科4年 H.M.

全国発売される商品の開発という大規模な企画に初めて参加し、責任を持って取り組みました。特に、東洋水産の方との試作検討会では、自分の意見と他者の意見を擦り合わせる難しさを実感しました。商品開発の過程を通じて多くの人が関わることを学び、自分もその1人となったことに大きな達成感を感じました。店頭の商品が並んだ瞬間の喜びは格別で、より一層商品開発の仕事に携わりたいという思いが強まりました。

▲板橋キャンパス緑苑祭での試飲の提供

▲試作検討会

図書館ボランティア団体(狭山キャンパス)

健康科学部
リハビリテーション学科 作業療法学専攻3年 K.H.

狭山Book Friendsでは現在10名が活躍しています。活動内容は七夕飾りやクリスマス飾りの制作・飾りつけ、選書ツアー、緑苑祭などで、時に板橋校舎のLibrary Matesと共同して活動を行うです。Book Friendsの魅力は、実習や勉強に合わせる柔軟に活動ができることと、グッズ制作やしおり作成などメンバーがやりたいと思ったことを自由に取組めることです！
私も今年はユニフォーム制作や狭山図書館の新キャラクター作成などを企画し、メンバー数人と協力して取り組んでいます。みなさんが狭山Book Friendsの一員となって一緒に活動できる日をお待ちしています！

社会連携 芥川製菓株式会社
板チョコ パッケージデザイン

児童学部
児童学科 育児支援専攻 2024年度卒 Y.M./K.H.

板橋区くらしと観光課から3万部発行された、いたばしのいいところをちよこっと紹介する「いたちよこブック」のメインキャラクター「いたちよこブラザーズ」の作成がきっかけで、本物の板チョコ・パッケージのデザインに採用してもらいました。この板チョコは、板橋区が主催するマルシェで広報PRのため販売されます。観光課職員がキャラクターを推してくださったため、より手に取ってもらえるようデザインを何度も話し合いました。観光課の方々とも打ち合わせをして、キャラクターが手に持つ「いたばし」を「絵本のまち 板橋」と関連づけたデザインで表現する工夫をしました。

芥川製菓の板チョコパッケージ▶

▼区職員との打ち合わせ

広報・宣伝部 学生広報

人文学部
心理カウンセリング学科3年 Y.M.

学生広報は、主に広報誌などでこの作成に携わっております。昨年度は、学生広報メンバーの日常を発信する「学生広報手帳」を書いたり、夏休みの過ごし方やパソコンの裏技スキルの特集を作ったりしました。他学年や他学科のメンバーと共に協力しながら活動しているため、異なる視点からの意見や発想に溢れる話し合いをすることができ、普段の授業では味わうことのできない非常に魅力的な時間を過ごせると感じています。

▲2024年度 広報誌なでしこ

夢の第一歩、踏み出してみませんか

TOKYO KASEI UNIVERSITY
JUNIOR COLLEGE SUPPORTERS' ASSOCIATION
DREAM PLAN SCHOLARSHIP

東京家政大学 東京家政大学短期大学部
後援会ドリームプラン奨学金

学生生活をより豊かなものにするために、東京家政大学在学中で、個人的かつ社会的に有意義でオリジナリティにあふれるユニークな企画をもっている個人またはグループに対して、その計画の実現に向けて給付する奨学金です。「今かなえたい！」そんなあなたの夢を応援します。

給付額

国内での活動：上限**30万円**
海外での活動：上限**50万円**

応募締め切り

2025年5月30日(金)
後援会事務局にメール(17:00まで)

「応募から採用までの流れ」や「所定申請書」などをWEBからCheck!



フライヤーからもご確認いただけます!

What?
後援会

後援会は、学生が快適で充実した学生生活を送れるよう支援することを目的とした組織です。大学の教育方針に基づき、学生の福利厚生や教育・研究活動を援助するとともに、大学と家庭の連携を深め、大学の発展に貢献しています。

会員は、大学院・大学・短大に在学する学生の保護者および教職員で構成されています。

東京家政大学 東京家政大学短期大学部
後援会

後援会事務局(板橋キャンパス 85周年記念館2階)
お問い合わせ TEL: 03-3961-3264 E-mail: kouenkai@tokyo-kasei.ac.jp



東京家政大学
附属女子中学校・高等学校

輝かしい未来へ
2025
Toward a Brilliant Future 2025

TOKYO KASEI
JUNIOR &
SENIOR HIGH SCHOOL



東京家政大学
附属女子中学校・高等学校 校長
学校教育学博士/
東京家政大学 名誉教授/
公益財団法人
幼少年教育研究所 理事長
大澤 力

本学は、1881年(明治14年)お茶の水の湯島で誕生した女子教育一筋の教育機関です。和洋裁縫伝習所から東京裁縫女学校へ、さらに東京女子専門学校から東京家政大学へと、常に時代が求める女性の**自律を**目指し、**輝かしい未来へ向け、早や144年の歳月が経過**しています。さて、日本の教育を鑑みるとき、その原点は教育基本法第一条(教育の目的)「**人格の完成を**目指し、**平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない**」とあります。本学が擁する各教育機関では、それぞれに特性があります。「**高等教育・大学**」…その高い専門教育や教養教育が必須の内容となります。「**中等教育・中高**」…**自らの生き方に誇りを持ち、誠実でしなやかな心**を備えた、**周囲から信頼される女性を育てる**ことを目指し、1. 学びに対する興味関心を喚起する。2. 自らの夢・目標を見つめることを支援する。3. 学習面・生活面における自立を促す。4. 他者と協働して課題解決できる力を身に付ける。こうした資質・能力を育む教育を展開します。

そのため、**附属女子中学校・高等学校**…**2025では、輝かしい未来に向けて、多**



中高制服リニューアル!



留学体験(オーストラリア)

様々な経験や体験を通し、実感を伴う深い学びにより、未来を創造し実現してゆく**未来創造プログラム(仮称)**(キャリア・コンピテンシー教育・人間力の向上)ヴァンサンカンプラン・GCP・中高大連携教育・教科横断型学習(Creative Learning)・探究学習および**未来実現プログラム(仮称)**(コース別学習・進路サポート…学力向上・進路実現)中学校…アドバンストクラス・スタンダードクラス、高等学校…SAコース(SAクラス)・CLクラス(CAクラス)・TKUクラスという教育の流れを実効性高く、確実に実践して参ります。



2025年2月25日(火) 学園貢献賞の 表彰式を開催

学園貢献賞は、本学の広報活動に特に貢献し、新聞などのメディアで取り上げられるなど顕著な功績を挙げた学生・生徒、または学生・生徒の指導を通じて学園の名譽向上に寄与した教職員を表彰するものです。

理事長賞

大学改革総合支援事業
TJUP運営推進チーム
大学改革総合支援事業TJUP運営推進チームは、教職員の協力を得て7年間にわたり活動を継続してきました。大学の認知度向上や大学連携、地域貢献の点からも学園に貢献してきました。

学長賞

三菱みらい育成財団採択プログラムメンバ「米津先生及び大学リハビリテーション学科と附属高等学校の連携協力」
リハビリテーション学科の教育プログラムが三菱みらい育成財団に採択され、高大連携の先駆けとして学園に貢献しました。

学長賞

ヒューマンライフ支援センター
ピンクリボン運動推進プロジェクトメンバ
ピンクリボンプロジェクトは15年以上にわたり啓発活動に努め、健康経営や広報面で学園に貢献しました。

学長賞

人文学部教育福祉学科
宮地孝宜ゼミ生
学生自らの発案・企画によるコミュニティカフェや子ども食堂の運営を通じて地域交流を促進し、本学の社会活動の広報に貢献しました。

学長奨励賞

家政学部児童学科
森田 侑香里さん、堀口 琴末さん
板橋区と共同で編集発行した「いたちよこブック」という観光ガイドブックや、その中で学生が考案したキャラクター「いたちよこブラザーズ」が活躍するなど観光振興と地域貢献に寄与しました。

学長奨励賞

子ども支援学部 子ども支援学科
武川 舞桜さん
東京都マクサース水泳競技大会18、24歳の部に継続的に出場し、どの競技も優秀な成績を収め、本学の知名度向上に貢献しました。

中学校長賞

樋口 友清さん
大学レベルの実用英語技能検定準1級を取得し、前向きな学習姿勢でクラスに良い影響を与え、他の生徒の見本となっています。

中学校長賞

関根 萌望子さん、原愛依さん、大谷 美咲希さん
第22回田崎清忠杯私立中学校英語レシターション大会で団体賞優秀校として優秀な成績を収めました。



優秀な研究成果を収めた若手教員を表彰 東京家政大学 若手研究者奨励賞



受賞者
健康科学部
リハビリテーション学科
准教授 田中 繁治



2025年1月16日(木) TOEIC® 800点以上 取得者の表彰式を開催

受賞者一覧

- 家政学部栄養学科 管理栄養士専攻 野村美乃理さん
- 栄養学部 管理栄養学科 竹崎未和さん
- 栄養学部 管理栄養学科 蓮實芳乃葉さん
- 人文学部 英語コミュニケーション学科 光武唯奈さん
- 人文学部 英語コミュニケーション学科 山崎美柚さん
- 人文学部 英語コミュニケーション学科 吉田京加さん
- 人文学部 英語コミュニケーション学科 大久保早紀さん
- 人文学部 英語コミュニケーション学科 荒木彩那さん

受賞者の高スコア達成方法！

- 個人で短期留学に行った後、グローバル教育センターの英語学習サポートでTOEIC®のアドバイスを受けるなどしました。継続して公式の問題集を解いて、努力を積み重ねてきた結果だと感じています。
- 春休みに大学が主催する2週間の専門研修に参加したのですが、その時に英語に触れる抵抗感がなくなりました。その後はアプリを活用し、通学時間に勉強しました。
- 1年生の時に1年間のキャンパス英会話を通して外国人講師と毎日会話をしました。その1年で英語に対する壁をなくせたことが大きかったです。その後、英語学習を結果として残したいと考えてTOEIC®の勉強を始めました。
- 大学のプログラムでイギリスに半年間の留学に行きました。その際、リスニング力とスピーキング力は養えましたが、それ以外の力が足りないと感じ、単語や問題集を繰り返し行いました。



理事長コラム No.21

世界を生きる



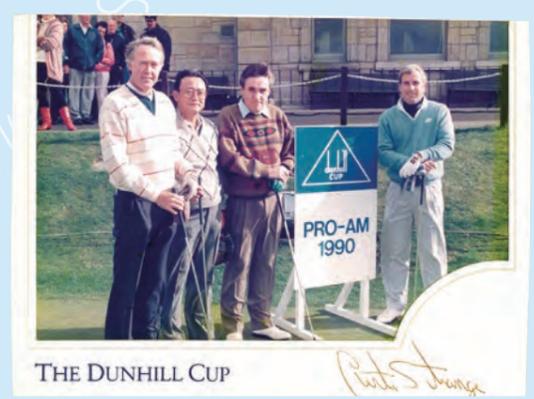
学校法人 渡辺学園 理事長
菅谷 定彦

日経米州編集総局長時代7

屈辱のバイン・バレー(米NJ) 大怪我のセントアンドルーズ (スコットランド)

2度のニューヨーク勤務で米国の名門ゴルフ場には時差を伴う過密な業務の息抜きのため、積極的に出かけたが、最悪のスコア125をたたいたのが、特派員時のニュージャージー州クレメントンのバイン・バレー・ゴルフクラブ。日本郵船ニューヨークの石川副支店長からのお誘いで、送られた地図を見ながらクイーンズの自宅から愛車ダッジ・ダートで1時間20分。岡村・郵船支店長 木戸・米國三菱商事社長、石川氏の4人でスタートした。

出さずだけでいいと8番アイアンで打ったところクラブが後方の小木の枝にひかかり空振り。第2打も当たったがブッシュから出きらず1ペナルティを払って前方に出したが、8をたたき、後も似たようなトラブル続きで125と生涯最悪のスコアで終わった。私よりゴルフの腕が下の木戸社長が124で回ったと言ひ、「在NY日本人のトップ中、ナンバー1の菅谷に勝った。これから君とはゴルフはやらぬ。墓場に勝った記録を持っていく」とカードにサインをさせられた。終了後売店にいたプロに「タフなコースだね」と感想を述べると「ジャック・ニコラウスが2年前新婚旅行の時回ったスコアが81。しかし1年後にやってきて69を出した。君ももう1回来たら」と言われた。「ありがとう」と対応したが「2度と来るもんか」とつぶやいた。



▲セントアンドルーズでのプロアマ戦
向かって右は当時米國ナンバー1のカーチス・ストレンジ選手

番アイアンで打ったボールはまっすぐグリーン近くまで行きボギーで124に収まった。打った時火花が飛び散り、7番アイアンは一部欠けたが、右手に痛みはなかった。ダンヒル会長の正面に座らされた会食も、私が米州編集総局長時代、マンハッタンのレストラン・テイラーでカシミアのコートを購入、寒いニューヨークの冬をしのいだ話など愉快に過ごしたが、18番ホルの1打が私の右腕と目に重大な怪我をもたらしたことが後日判明する。

To be continued

▼バイン・バレーGC(ニュージャージー州 クレメントン)6番ホール、ティーグラウンドから(コース絵葉書)



世界を生きる No.22
「日経米州編集総局長時代8」

東京家政大学ビジョン150

理念

存在意義（パーパス）

行動指針（ミッション）

理念

建学の精神「**自主自律**」

生活信条「**愛情・勤勉・聡明**」

存在意義（パーパス）

知と技で自他の可能性を広げ、
人がつながる社会の起点となる。

東京家政大学は、すべての人が自分らしく暮らし、
人生を全うすることができる社会、
人と人がつながる社会の実現に貢献します。

東京家政大学が大切にしているしなやかな知性と実践に基づく専門性は、
自分自身の人生を切り拓くだけでなく、
他者の可能性をも広げることができるものです。

東京家政大学は、すべての人が支え合い、
認め合うことのできる社会に向けて、
自ら最初の一歩を踏み出す人を育みます。

行動指針（ミッション）

1. 理念・目的
大学・大学院・短大の理念・目的に即し、必要な改革を断行する。
2. 入学者の積極的な受け入れ
急速に進む少子化・社会の変化を直視し、学ぶ意欲のある多様な学生を積極的に受け入れる。
3. 学習・教育
「人をつなぐ専門力」(専門に関する能力×汎用的能力)の育成に邁進する。
4. 学生支援・キャリア支援
すべての学生がそれぞれの可能性を発見し、伸ばせるよう支援する。
5. 研究活動
教育研究を支える環境や条件を整備し、研究活動を活性化する。
6. 社会連携・社会貢献
地域社会や企業等との連携を通じて、大学の教育研究の成果を社会に還元する。
7. 生涯教育・キャリアアップ
本学の強みを生かし、広く社会人等に対し充実した学びの機会を提供する。



学びの証を胸に、
新たな世界へー
卒業式・学位授与式を挙行了しました
令和7(2025)年3月18日、卒業式・学位授与式が挙
行されました。大きな希望を胸に社会へ。東京家政大学で
学んだことを力に変え、自分の道を歩んでいきます。



TOKYO KASEI PRESS Vol.104

学校法人渡辺学園 広報誌なでしこ

令和7(2025)年4月発行

発行人 菅谷 定彦(学校法人渡辺学園 理事長)
編集責任者 岩井 絹江(広報・宣伝部 統括)
編集メンバー 川口 恵美子、後藤 直哉、坂本 理恵、
綿貫 里穂、平松 華歩、嶋田 彩乃
編集・発行 学校法人渡辺学園 広報・宣伝部
〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1
TEL 03-3961-5690
デザイン SS Design
印刷 上毛印刷株式会社

掲載希望の記事がありましたら、広報・宣伝部にご連絡ください。



TOKYO KASEI PRESS
バックナンバー



Instagram

本学の魅力や最新情報を発信中!
“フォロー”や“いいね”
よろしく願います!



TOKYO KASEI PRESS Vol.104
アンケート



学生広報メンバー
応募フォーム

ご協力を
よろしくお願いします!

ご興味のある方は
広報・宣伝部に
お気軽にご連絡ください!